



Care + Nishiniigata Chuo Hospital 2026 January

かれん

vol.
16

2026年
1月

国立病院機構 西新潟中央病院

— 地域とともに、日々とともに。「今」を伝えるもの語り —



国立病院機構 西新潟中央病院

〒950-2085 新潟県新潟市西区真砂1丁目14番1号 TEL.025-265-3171 FAX.025-231-2831
<https://nishiniigata.hosp.go.jp/>



ホームページ
はこちらから



Instagram
はこちらから

message

チーム西新潟の7年間をふりかえる

2019年春に時代が令和となり丸7年。

当院の今日までの歩みをたどると次のようになります。

2019年	5月	令和の幕開け	私の院長就任はこの年の4月でした
	6月	新潟山形地震	津波避難のため近隣住民の方々約250人が当院に(6/18夜)
	7月	第11回病院祭開催	
	8月	新潟まつり大民謡流しに参加	この年までの恒例行事
	9月	政府が地域医療構想を公表	当院もその渦の中に
2020年	2月	新型コロナ・パンデミック始まる	桑原克弘統括診療部長が豪華客船患者を収容する千葉東病院に赴き診療支援
	4月	当院COVID-19患者入院受入開始	新潟県庁の要請を受け、その後の3年間で総計670人を入院治療
	10月	国立病院総合医学会がリモート開催に(当院:主管施設)	
2021年		「かれん」創刊	1941年に真砂の地に医療機関が創設されてから80年
2022年		1年間の救急車受入数が1,000台を突破	
2023年	5月	COVID-19が2類から5類感染症に	新型感染症対応に明け暮れた日常も、少し平穏を取り戻しました
2024年	1月	能登半島地震	津波避難のため近隣住民の方々約550人が当院に(1/1夜)
	7月	病院祭 5年ぶり開催	
2025年	4月	基幹型臨床研修病院として1期生が初期研修スタート	
	7月	結核病床30→ゼロを行政が承認	ただし結核医療は今後も維持
	10月	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会(会長:大平徹郎)	

私にとって思い出つきな歳月でした。

親しまれ必要とされる病院として、チーム西新潟はこれからも使命を果たしてまいります。
どうぞよろしくお願いいたします。

※チーム西新潟:当院で勤務するすべての職員

国立病院機構 西新潟中央病院
病院長

おおだいら てつろう

大平 徹郎



かれん

vol.16

Care+Nishiniigata Chuo Hospital
2026 January

かれん(Care+N)とは、ケア(いたわる心)と、
西新潟のNを組み合わせてできた名前です。
優しさと親しみを込めて呼んでもらえるように。
そんな思いから生まれました。

contents

03

Care+N specialist

放射線科 特殊撮影主任 熊谷 大樹

05

Care+N forum

エルダー(2病棟) 佐藤 由美

エルダー(2病棟) 佐久間 絵理香

メンター(3病棟) 田中 さやか

07

Care+N letters

[私たちの「今」を発信! インスタグラム絶賛配信中]

[第13回病院祭が行われました(7月6日)]

[バザーの売り上げを「にっ子食堂」へ寄付(8月8日)]

special column

09

information



強い磁気と電磁波を用いて人体の断面画像を撮影する、MRI（磁気共鳴画像法）検査。専門性の高い技術を要する診療放射線技師って、どんな職種？ 熊谷主任に聞きました。

Interview Start >>

体内を可視化できるMRI検査で鮮明な画像を提供

放射線科
特殊撮影主任

くまがい だいき
熊谷 大樹



診療放射線技師を目指そうと思ったきっかけは？

高校時代、部活でのけがで病院にかかったときに、放射線技師という仕事を知りました。もともと医療分野に興味があり、パソコンや画像を扱う作業が得意だったこともあり、診療放射線技師国家試験合格を目指して進学しました。卒業後、他県の施設を経て、当院に勤務して6年目になります。

MRI検査は、放射線を使わない不安の少ない検査

当院の放射線科は検査のバリエーションが多く、レントゲン、CT、MRI、そして放射線治療や核医学検査、透視撮影など多岐にわたります。「放射線」と聞くと身構える方もいらっしゃると思いますが、MRIは唯一、放射線を使わない検査です。そのため被爆すること



がなく、精神的不安も少ないことが特徴です。例えば、がんの疑いがある場所を詳しく調べたり、整形では椎間板や神経の状態を見たり、また当院はてんかんなど脳神経の領域で専門性の高い病院であることから、頭部の検査でMRIが多く使われています。

診療放射線技師として日々、心がけていること

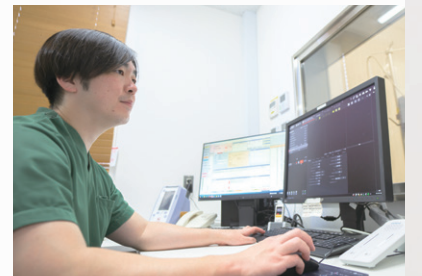
年々進化するMRIの技術に合わせ、技師のための勉強会も頻繁に行われており、積極的に参加しています。日頃から知識を磨き、医師からの「学会でこう

>> かれん スペシャリストリポート／特別版

いう撮影法を聞いたんだけど、できますか？」といったリクエストにも、柔軟に応えていきたいです。医師の指示に的確に対応することはもちろんですが、「この病気でしたらこういう画像も撮れます」と、こちらから提案することもしていきたいです。

治療に役立つ画像提供ができたとき
やりがいを感じます

自分が撮影した画像で診断がつき、治療方針に役立ったときはうれしいですね。私たち技師は、直接患者さんを治療することはできませんが、MRI検査において質の高い画像を提供することで、病気の早期発見、入院患者さんであれば早期退院につなげることができます。そんな経験が増えるたび、この仕事に就いてよかったなと感じます。



患者さんに丁寧にご説明し
検査時の不安をできる限り解消

初めてMRI検査を受ける方は、大きな機械の中に入るといっただけで「怖い」と感じるかもしれません。もし不安や疑問があれば、私たち技師や各医療スタッフがしっかりとご説明しますのでご安心ください。「思ったより楽だった」と感じていただける検査を、最善の方法でサポートいたします。

「検査に関するどんな不安も、ご相談ください」

新人看護師の“頼れる先輩” 教育担当看護師をご紹介します。

新卒で入職した看護師を1年間、いちばん近くでサポートする教育担当看護師。
業務指導から精神的ケアまで、親身になって見守る存在です。

「教育指導看護師」とは？
皆さんの役割を教えてください。



佐藤：新人看護師の指導は病棟全体で行いますが、その中心になるのが私たちです。主に看護技術を教える「エルダー」と、メンタル面のケアを行う「メンター」が新人ひとりひとりに付いて、指導を行っています。

佐久間：エルダーの役割は、社会人として守るべきルールから看護の根拠、日々の看護業務に至るまで、基本的・技術的な指導が中心です。個別の指導計画も立てています。

田中：メンターは、悩み事があるときや失敗した際にひとりで抱え込まないよう話を聞き、精神的なフォローをする立場です。また「新人の〇〇さんからこんな相談がありました」と、実務指導にあたるエルダーとの架け橋になることも意識しています。

新人看護師さんへの指導において
特に留意されていることは？

佐藤：私が新人だった頃は、わからないことがあっても自分で勉強するしかなかった記憶があります。「これでいいのかな？」と思いながらの看護は、患者さんには頼りなく見えるのではないかと感じていました。ですから、今の新人たちには「いつでも聞いてね」という環境をつくり、看護のスキルを積極的に吸収してほしいと思っています。

佐久間：この制度のおかげで、今はだいぶん聞きやすい環境になりました。私は入職6年目ですが、新人とは結構ジェネレーションギャップを感じるがあるので、なるべく気軽に話してもらえよう、どんなときも笑顔で対応するように心がけています。

田中：私はメンターとして、いま担当している3人の新人に最も近い存在でありたいと思っています。そのひとりの考えや行動を受け止め、意思を尊重したうえで、それぞれに対する関わり方を考えています。

指導することの難しさやご苦労は、
どんな場面で感じますか？

田中：1対1で話を聞く際、相手が緊張しないよう、雑談のように気軽に聞き出す工夫をしています。「最近どう？困ってない？」と、声かけが上手な先輩の話方をまねしています。

佐久間：雰囲気づくりは大切です。私たちも新人の頃の気持ちを思い出し、何でも話しやすい関係性を築いていきたいです。

佐藤：私は指導の際に、正しいアドバイスの仕方を模索しながら進めるように心がけています。また、新人ひとりひとりの知識やスキルを把握し、それぞれに合わせた指導計画を考えていくのも、なかなか大変なことだなと感じています。

新人看護師さんたちに
どのように成長してもらいたいですか？

佐久間：看護の仕事には「働く楽しさ」が必要だと考えています。大変なこともあります。患者さんからの感謝の言葉や笑顔は、看護師の大きなやりがいとなります。入職したばかりの新人たちは業務を覚えることで精いっぱいですが、そんな小さな気づきも伝えていきたいです。



田中：私は「あの新人さん、この仕事もできるようになったよ」と言われることがとてもうれしいです。本人の努力に加え、私も少しは力になったのかなと感じます。今後もそういう声をたくさん聞きたいです。

佐藤：新人たちには、看護の楽しさを知り「自分はこの看護をしたい」という自分なりの看護観をしっかり持ってほしいです。技術だけでなく、ひととのつながりなど心のケアも行える看護師に育ってくれるよう、関わっていききたいです。



エルダー（2病棟）
さとう ゆみ
佐藤 由美

エルダー（2病棟）
さくま えりか
佐久間 絵理香

メンター（3病棟）
たなか
田中 さやか

外来診療担当医表 [2026.1] [受付時間]8:30～11:30 [休診日]土・日曜日・祝祭日

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
呼吸器内科	午前 (予約制)	大平 徹郎 (呼吸器／睡眠外来)	宮尾 浩美	森山 寛史	宮尾 浩美	松本 尚也
		森山 寛史	桑原 克弘	松本 尚也	桑原 克弘	木村 夕香
		木村 夕香	松山 菜穂		松山 菜穂 (隔週)	
		松山 菜穂 (睡眠時無呼吸)		松山 菜穂 (睡眠時無呼吸)		
	午後 (予約制)		大平 徹郎 (睡眠時無呼吸) (再来のみ)			
呼吸器外科	午前	(手術日)	渡辺 健寛	(手術日)	渡辺 健寛	
整形外科	午前		藤澤 純一	藤澤 純一	(手術日)	榮森 景子
小児整形外科	午後 (予約制)					榮森 景子
脳神経内科	午前	若杉 尚宏	高橋 哲哉	中村 航世	高橋 哲哉	長谷川 有香
			黒羽 泰子			齋藤 奈つみ
	午後 (予約制)			黒羽 泰子 (もの忘れ外来)		脳神経内科担当医 (難病相談外来)
機能脳神経外科	午前	福多 真史	(手術日)	福多 真史	増田 浩 (再来のみ)	(手術日)
		伊藤 陽祐		伊藤 陽祐	太田 智慶	
	午後 (予約制)				太田 智慶 (再来のみ)	
てんかん科	午前 (予約制)		長谷川 直哉 (新患のみ)	長谷川 直哉 (再来のみ)	長谷川 直哉 (再来のみ)	長谷川 直哉 (再来のみ)
	午後 (予約制)		齋藤 奈つみ (再来のみ)		長谷川 直哉 (再来のみ)	
神経小児科	午前・午後 (予約制)	三浦 雅樹 (再来のみ)	遠山 潤 (再来のみ)	放上 萌美	遠山 潤	小林 悠
		古寺 一樹 (再来のみ)	小林 悠 (再来のみ)	遠山 潤	三浦 雅樹	放上 萌美
			藤井 仁美 (再来のみ)			古寺 一樹
	午後 予防接種(予約制)	小林 悠 (予防接種)	古寺 一樹 (予防接種)	三浦 雅樹 (予防接種)	藤井 仁美 (予防接種)	放上 萌美 (予防接種)
難病リハビリ	9:00～15:00	大河原 舜太	中村 航世	大学医／大河原	若杉 尚宏	大河原 舜太
リハビリテーション科	第3金曜 午後					木村 慎二

外来受診について

外来診療は初診・再診を問わず、原則として予約制です。事前に予約をお取りください。

予約専用窓口／TEL.025-265-2299

□翌日以降の予約(平日13:00～17:00) □当日の診療希望(平日9:00～11:00)

※予約なく紹介状をお持ちになりご来院されても、外来の状況で当日受診ができない場合があります。

【診療日程】

□初診・再診受付／8:30～11:30 ※救急の場合は、この限りではありません。

□休診日／土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始

TEL.025-265-3171(代表)へお電話いただくと、自動音声でご案内しております。

交通のご案内

【バス】

A.有明線

「国立西新潟中央病院前」下車徒歩約2分

B.坂井輪コミュニティバス

「国立西新潟中央病院前」下車徒歩約2分

C.西小針線(本数が多い)

「小針十字路」下車徒歩約10分

【JR】

越後線「小針駅」からタクシー3分

【車】

新潟バイパス「黒埼I.C.」から15分



epilogue



表紙の話：ドクターのもと、事務的サポートを担うMAたち。活躍してます！

MA(メディカルアシスタント)とは、主に外来の診察において、診察記録(カルテ)入力や、診断書をはじめとする医療文書の作成を、医師に代わって行う医師事務作業補助者です。医師が患者さんとは対話する際に同席し、診察の内容を電子カルテに入力することにより、医師の事務的業務の負担軽減はもちろん、看護師や検査技師といった院内の医療スタッフに、的確かつスムーズに伝達する橋渡し役としても重要な役割を果たしています。

医師のサポートという立場から、日々専門性の高い知識を養っているほか、MAメンバー間のコミュニケーションを密にして情報共有に努め、毎日の業務に活かしています。

かれん 2026年1月 vol.16 Care+Mishiniigata Chuo Hospital 2026 January

〈発行人〉病院長 大平 徹郎 〈編集人〉丸橋 光明 高橋 篤史